

令和2年3月18日
国土交通省九州地方整備局
大隅河川国道事務所

国道220号 ^{うしねさかい}牛根境地区防災検討会を開催しました。
(持ち回り開催)

国道220号 牛根境地区防災検討会の目的

大雨による異常気象時通行規制や斜面崩落による土砂流入などの危険性が高い現道における安全性の確保に向けた防災事業について、有識者より専門的かつ技術的な観点から必要性・緊急性・対策内容に関し、助言を頂くことを目的としています。

■主な検討内容

- ・国道220号 牛根境地区における現道の課題
- ・対策概要
- ・最適ルート(案)



■開催日：令和2年3月9日(月)～17日(火)

(新型コロナウイルス感染症拡大を受け、会議形式を中止し、各委員に対し、事務局にて個別に説明を実施)

- 有識者：北村 良介 鹿児島大学名誉教授、地頭 藺 隆 鹿児島大学教授
井村 隆介 鹿児島大学准教授、酒匂 一成 鹿児島大学准教授

問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 大隅河川国道事務所

技術副所長

まつお せいじ
松尾 誠二

調査第三課長

こやなぎ まこと
小柳 誠

TEL：0994-65-2541(代表)、FAX：0994-65-4216

URL：<http://www.qsr.mlit.go.jp/osumi/>

うしねさかい 国道220号牛根境地区防災検討会（結果）

大隅河川国道事務所では、大雨による異常気象時通行規制や斜面崩落による土砂流入などの危険性がある国道220号牛根境地区について、有識者による検討会を開催し、課題の解消に向けた対策(案)について議論しました。

主な結果は以下のとおりです。

■有識者：北村 良介 鹿児島大学名誉教授、地頭蘭 隆 鹿児島大学 教授
井村 隆介 鹿児島大学准教授、酒匂 一成 鹿児島大学 准教授

■主な結果

- 牛根境集落より終点側の異常気象時通行規制区間は、土砂崩壊が発生すると大規模になる可能性が高く、橋梁（2車線）で回避することは妥当。
- 異常気象時通行規制区間外の霧島市側についても、同様の地形・地質であり抜本的な対策が必要な区間である。
- 詳細な設計を実施する際は、地質踏査、ボーリング調査、物理探査等により、斜面部や海岸部の地形・地質を適切に把握するとともに、設計に十分反映させていくことが必要。

■位置図



■当該地域の状況



写真① 道路沿線の斜面状況



写真② 斜面の崩壊 遠景 (H5.8)

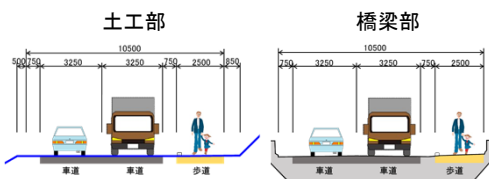


写真③ 斜面の崩壊 近景 (H5.8)



写真④ 国道への土砂流入 (H29.7)

■標準断面図



■最適ルート(案)

